# まちの話題で

#### ステージは満開

# 布津桜まつりが開催

3月25日(日)、布津運動公園で毎年恒例の「桜まつり」 が開催され、ステージイベントや「布津なべ」の無料配 布などにたくさんの観客が集まりました。

3月の陽気で満開の桜が期待されていましたが、中旬 の冷え込みでつぼみが多かった桜まつりとなりましたが、 この日を楽しみにしていた家族や自治会などの仲間が花 見を楽しみました。



#### 桜とともに口之津港も見渡せます 口之津桜祭り

3月31日(土)、口之津公園(南蛮大橋近く)で桜祭り が開催され、宝探しや餅つき、ストラックアウトゲーム など地元の子どもたちや家族が参加し、春のひとときを 過ごしました。この公園は、見晴らしのいい海沿いの高 台にあり桜のほかツバキやツツジなども咲いています。

市内各所には、皆さんが行ったことのない場所がたく さんあるはずです。天気の良い日は、あてのない市内散 策に出かけてみませんか。



#### いつまでもお元気で

#### 100歳おめでとうございます

松島市長は100歳を迎えられた大野さんの自宅を訪れ、 ご家族の皆さんと一緒に、記念品と花束でお祝いしました。

### 日頃の鍛練の成果を元気に競う 第27回北空会空手道大会

3月11日回、南有馬武道館で第27回北空会空手道大 会が開催され、幼児から中学生までの約70名が参加し、 日頃の鍛錬の成果を競いました。同会は本部を北有馬に 置き、南有馬、口之津、有家、布津に支部道場をもち、 会員総数は150名にものぼります。

興味のある人は事務局長(菅藤: ☎0957-84-2388) までご連絡ください。



# 有馬商業をいつまでも・・・ 有馬商業高等学校校舎模型

今年3月で閉校となった県立有馬商業高等学校の校舎 模型が、南有馬庁舎1階ロビーに展示されています。

これは、閉校記念として制作されたもので、県立島原 工業高等学校建築科の協力により、細部までリアルに作 られています。お立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。





野トヨカさん 3月28日生まれ

# 

#### またまた栄冠

#### 布津小ミニバスケットボールクラブ

3月26日から28日まで千葉県で開催された、第38回全国ミニバ スケットボール大会で市立布津小学校男子ミニバスケットボールク ラブが見事優勝の栄冠を手にしました。これまで、数々の大会でも 見事な成績を残している同チームは、勢いもそのままに参戦。

47都道府県から集まった48チーム(特別枠1)を4つのブロック に分け、予選リーグと決勝トーナメントで競いました。試合は神奈 川県や福井県代表などと対戦し、決勝戦では春江ミニバスケットボ ールスポーツ少年団(福井県)を81対48で下し、ついにBブロック の覇者となりました。チームのキャッチフレーズは『楽笑』。すば らしいこのチームには今後も『楽勝』で走り続けてほしいですね。



### 力を合わせて もっと たくましく!! 南島原市商工会がスタート

4月1日回、新しく南島原市商工会がスタートし、その開所式が 新しい事務所となる口之津町商工会で行われました。式には松島市 長のほか、県や関係者などが出席しテープカットを行いました。こ れに先立ち、3月26日側、南島原市商工会の合併認可書交付式が 島原振興局で行われ、島原振興局の酒井局長から初代会長の川口誠 一会長(旧南有馬商工会長)へ認可証が手渡されました。酒井局長は 「今までご尽力いただきました方々に感謝を申し上げます。地元の 皆さんの期待に応えるようご尽力いただきたい」とお祝いしました。

それに対し川口会長は「力を結集し次の時代を担うように、また 本来の目的を逸脱することなく一丸となって頑張ります」と応えま した。今後は県内最大規模の会員数(1,687人)で活動を開始します。



# みんなの思いが『かたち』になりました 深江小学校・長野小学校が 車いす寄贈

3月8日休、深江小学校の児童が「リサ イクルボランティア」活動で集めた益金で 同町「栄和会」へ車いす2台を贈りました。 この活動は、空き缶のプルタブやテレホン カード、切手などを持ち寄り「地域に有効 活用するために」と、3年間にわたりコツ コツと集めました。うれしいプレゼントに 対し、栄和会の泉川理事長は「ありがとう ございました。きっとお年寄りの皆さんに 喜んでもらえるはずです」と感謝状を送り ました。

▼深江小学校へ感謝状



また、3月22日(木)には長野小学校の児童 がアルミ缶回収の益金で、近くのグループ ホーム「風の杜」へ車いす1台を寄贈しま した。同施設とは日頃から地域活動での交 流があり、顔なじみもたくさん。代表の池 田賢悟君は「やっと購入することができま した。少しでも役立つために、今後も活動 を続けていきたい」とあいさつしました。

一人一人の小さな活動は、子どもたちの



▲子どもたち自らグループホームへ寄贈(長野小学校)